

生命の歌声が聞こえる水と緑の薫る川

第10期 野川流域連絡会 活動記録



令和7年1月
野川流域連絡会

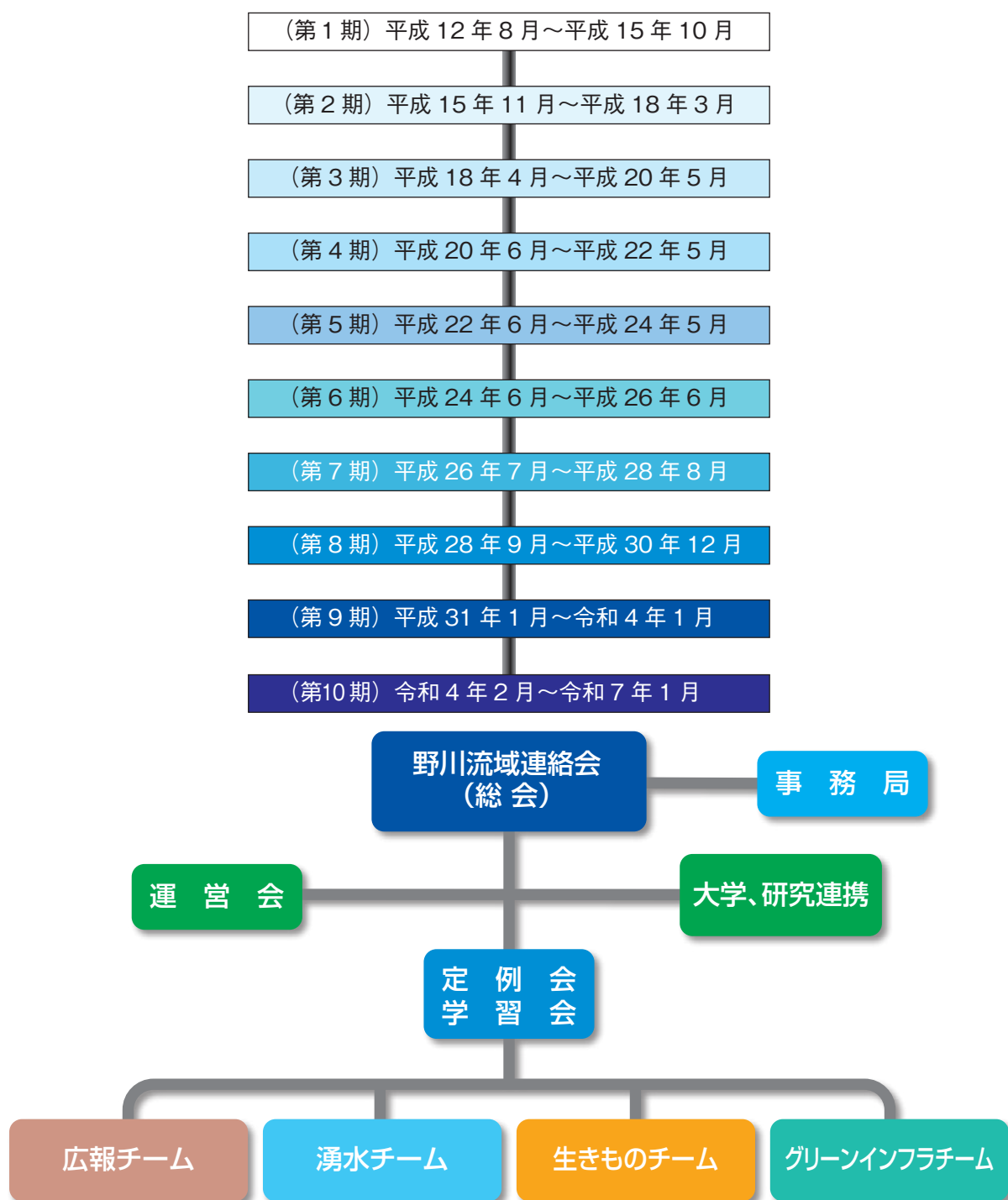
野川流域連絡会について

野川流域連絡会は、当初、水量・水質・生きものの3分科会から始まり、第3期から水環境と生きものの2分科会となり、並行してなっとく部会が合流し、また別途研究部会も立ち上がり、第8期まで活動してきました。

現時点で積み上げられた成果がある一方で、2つの分科会が深掘れして分断され、交流が乏しくなるとともに、新規会員が定着しにくいなどの弊害も大きくなってきました。

このため第10期では、第9期から引き続き、水環境と生きもの、なっとくを一体化して「定例会・学習会」とし、有志参加による個々の活動は、チームとして活動することとしました。

野川流域連絡会は、都民委員17名、団体委員8名、行政委員19名の計44名で構成されています。



第10期 野川流域連絡会の活動状況 (1/2)

活動	開催年月日	活動内容
第1回総会	令和4年1月31日	第10期のスタート、座長、副座長の選出
生きものチーム	令和4年2月28日	グループ討議
湧水チーム	令和4年3月4日	グループ討議
工事説明会	令和4年3月14日	野川河床整備工事の意見交換会
第1回定例会	令和4年3月22日	各チームの活動報告
湧水チーム	令和4年4月	春季湧水調査4月10、16、18、29、30日と5月9日
第2回定例会	令和4年6月27日	特別講演「野川流連の沿革」、各チームの活動報告
生きものチーム	令和4年7月11日	グループ討議、夏季・生きもの観察会について
生きものチーム	令和4年8月7日	夏季・生きもの調査会（一般参加を中止、委員のみ参加）
第1回運営会	令和4年8月22日	第2回総会について
生きものチーム	令和4年9月11日	調布流域現地調査、ビオトープ候補地探し
第2回総会	令和4年9月12日	生きもの観察会、今後の活動方針について意見交換
生きものチーム	令和4年10月17日	メンバー提供の情報を基に討議
湧水チーム	令和4年10月	秋季湧水調査10月15日～10月30日
生きものチーム	令和4年11月3日	世田谷流域現地調査、ビオトープ候補地探し
第3回定例会	令和4年11月14日	各チームの活動報告
生きものチーム	令和4年12月5日	グループ討議、夏季・生きもの観察会について
第2回運営会	令和4年12月12日	第3回総会について
現地調査	令和4年12月15日	世田谷ブロック
生きものチーム	令和5年1月22日	冬季・生きもの観察会
第3回総会	令和5年1月23日	基調講演「野川の水と生きもの」、各チームの活動報告
現地調査	令和5年1月24日	狛江・調布ブロック
生きものチーム	令和5年2月12日	出山下湧水視察。ビオトープ候補地探し
現地調査	令和5年2月15日	国分寺ブロック
工事説明会	令和5年3月7日	野川河床整備工事の意見交換会
第4回定例会	令和5年3月13日	各チームの活動報告
湧水チーム	令和5年4月～5月	春季湧水調査4月2、9、18、23日、5月6日
生きものチーム	令和5年4月10日	ビオトープについて、夏季・生きもの観察会について
第3回運営会	令和5年5月22日	第4回総会について
第5回定例会	令和5年6月26日	各チームの活動報告
生きものチーム	令和5年7月3日	夏季・生きもの観察会について
生きものチーム	令和5年8月6日	夏季・生きもの観察会

第 10 期 野川流域連絡会の活動状況 (2/2)

活 動	開催年月日	活動内容
第 4 回総会	令和 5 年 9 月 11 日	基調講演「野川のグリーンインフラ」、各チームによる話し合い
湧水チーム	令和 5 年 10 月	秋季湧水調査 10 月 2、14、21、28 日
湧水チーム	令和 5 年 10 月 13 日	水量・水質についての勉強会
交流会	令和 5 年 10 月 23 日	新河岸川流域川づくり連絡会との交流会
生きものチーム	令和 5 年 10 月 30 日	魚巣ブロック設置
第 6 回定例会	令和 5 年 11 月 13 日	各チームの活動報告
生きものチーム	令和 5 年 11 月 27 日	ホトケドジョウ、サワガニ調査
生きものチーム	令和 5 年 12 月 4 日	冬季・生きもの観察会について、調査報告、魚巣ブロックについて
第 4 回運営会	令和 5 年 12 月 11 日	第 5 回総会について
生きものチーム	-	冬季・生きもの観察会（雨天のため中止）
第 5 回総会	令和 6 年 1 月 22 日	基調講演「自然共生サイトについて」、各チームの活動報告
生きものチーム	令和 6 年 2 月 26 日	魚巣ブロック調査
工事説明会	令和 6 年 3 月 6 日	野川河床整備工事の意見交換会
第 7 回定例会	令和 6 年 3 月 13 日	各チームの活動報告
湧水チーム	令和 6 年 4 月	春季湧水調査 4 月 10 ～ 29 日
生きものチーム	令和 6 年 4 月 15 日	魚巣ブロック設置調査報告、夏の生きもの観察会について、今後の予定（新たなビオトープ・その他の活動）
生きものチーム	令和 6 年 5 月 11 日	河床整備工事後の生きもの調査（世田谷ビジターセンター付近～谷戸橋と小足立橋の間まで）
第 8 回定例会	令和 6 年 6 月 24 日	各チームの活動報告
生きものチーム	令和 6 年 7 月 1 日	河床整備工事後の生きもの調査報告、生きもの観察会、柳瀬川金山調節池見学に、カワセミ営巣設置個所のメンテナンスについて、他
生きものチーム	令和 6 年 8 月 4 日	夏季・生きもの観察会
グリーンインフラチーム	令和 6 年 9 月 1 日	野川グリーンインフラシンポジウム
第 6 回総会	令和 6 年 9 月 9 日	基調講演「気象庁の防災気象情報と線状降水帯への最新の取り組みについて」、各チームの活動報告
広報チーム	令和 6 年 9 月 24 日	広報チームの再スタートのための活動方針
湧水チーム	令和 6 年 10 月	秋季湧水調査 10 月 5 ～ 13 日
第 5 回運営会	令和 6 年 10 月 7 日	第 7 回総会について
生きものチーム	令和 6 年 10 月 28 日	ホトケドジョウ、サワガニ調査、ビオトープ候補地、金山調節池見学について
第 9 回定例会	令和 6 年 11 月 11 日	各チームの活動報告
生きものチーム	令和 6 年 11 月 14 日	金山調節池見学
生きものチーム	令和 7 年 12 月 2 日	冬季・生きもの観察会の役割分担について
生きものチーム	令和 7 年 1 月 19 日	冬季・生きもの観察会
第 7 回総会	令和 7 年 1 月 20 日	第 10 期の総括

総会の開催状況

第10期は、総会を7回開催しました。第1回は、令和4年1月31日（月）18時00分から、北多摩南部建設事務所地下1階会議室において、WEB会議により都民委員・団体委員14名行政委員12名の、計26名の出席によって行われ、1.開会、2.座長挨拶が行われ、その後に議題として、3.第9期の各チームの活動報告について、4.設置要綱（案）の改定について行われました。

各総会の開催内容については、下記の表に記します。

第10期野川流域連絡会総会の開催概要

回数	開催年月日	開催内容
第1回	令和4年1月31日	座長・副座長の選出、第10期の活動方針について協議しました。
第2回	令和4年9月12日	東京都河川部が講演「気候変動が河川にもたらす影響」を行いました。また、各チームの活動報告を行いました。野川の現地調査の予定について協議しました。
第3回	令和4年1月23日	H副座長が講演「野川の水と生きもの」を行いました。また、各チームの活動報告を行いました。第10期委員の任期を令和7年1月までとすることが了承されました。
第4回	令和5年9月11日	K委員が講演「野川のグリーンインフラ」を行いました。また、講演を通じて得たもの、これまで実践したグリーンインフラ、実現させたいグリーンインフラについて各チームによる話し合いを行い、その結果を発表しました。
第5回	令和6年1月22日	I氏（環境省関東地方環境事務所）が「自然共生サイトについて」のテーマで、K氏（一般財団法人日本気象協会）が「自然共生サイトの意義と役割について」のテーマで講演を行いました。また、各チームの活動報告を行いました。
第6回	令和6年9月9日	気象庁から東京都河川部に出向していたS氏より「「気象庁の防災気象情報と線状降水帯への最新の取り組み」のテーマで基調講演が行われました。また、各チームの活動報告を行いました。
第7回	令和7年1月20日	第10期の最終回となり、退任する座長と団体委員から挨拶がありました。退任する座長からは「野川の湧水と涵養林の保護を継続してほしいと願っている。また、野川国分寺区間の整備計画を継続的にテーマとすること」を提案されました。



第10期第3回総会のようす（リモート会議）



第10期第5回総会のようす（リモート、対面式併用会議）

定例会の開催状況

第10期は、定例会を9回開催しました。6月27日に開催された第2回定例会では、新任の委員も多いことから、第9期まで17年間座長を務められたK委員より、スタートに立ち帰って野川流域連絡会の歴史について特別講演が行われました。

講演では、野川流域連絡会の設立のきっかけとなった多摩川流域懇談会について解説されました。野川流域連絡会の基本理念でもある「三つの原則、七つのルール」は、多摩川流域懇談会の設立時に提唱されたことを記憶してほしいと結んでいました。

各定例会の開催内容については、下記の表に記します。

第10期野川流域連絡会定例の開催概要

回数	開催年月日	開催内容
第1回	令和4年3月22日	生きもの観察会の予定、今後の活動方針等について意見交換
第2回	令和4年6月27日	K委員による講演「野川流域連絡会発足にかかわる歴史」、湧水調査結果、崖線フォーラムの予定、今後の活動方針等について意見交換
第3回	令和4年11月14日	生きもの観察会の予定、現地調査会（世田谷ブロック）の予定、今後の活動方針等について意見交換
第4回	令和5年3月13日	グリーンインフラに関するアンケートの予定、今後の活動方針等について意見交換
第5回	令和5年6月26日	生きもの観察会の予定、湧水調査結果、グリーンインフラに関するアンケートの結果、今後の活動方針等について意見交換
第6回	令和5年11月13日	生きもの観察会の結果、魚巣ブロック設置、湧水調査結果、今後の活動方針等について意見交換
第7回	令和6年3月13日	魚巣ブロック調査結果、今後の活動方針等について意見交換
第8回	令和6年6月24日	各チームの活動報告、(仮称)グリーンインフラシンポジウムの開催について、事務局から報告
第9回	令和6年11月11日	各チームの活動報告と事務局から新河岸川流域川づくり連絡会との交流会、河川維持管理計画について報告



第10期第2回定例会のようす（リモート会議）



第10期第6回定例会のようす（リモート、対面式併用会議）

運営会議の開催状況

第8期までは、「まとめ役会」として総会（旧全体会）の前にその進行に関する相談をしていましたが、第9期からは、定例会で何をするのかを検討するための会として、名称を「運営会」に改め、座長、副座長の他にだれでも参加できるようにしています。第10期では、運営会を全5回開催しました。



第1回運営会のようす



第4回運営会のようす

イベントの開催状況

第8期まで、水環境分科会の主催していた「野川の通信簿」は、野川流域連絡会の主催で行われるようになりましたが、第18回以降、新型コロナウイルス感染症の影響から中止となり、第10期は行われていません。

また、生きもの観察会は、「野川の通信簿」と同様に第8期まで生きもの分科会の主催で行われていましたが、第9期から野川流域連絡会の主催で行われるようになりました。

生きもの観察会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年1月19日の開催を最後に中止されていましたが、令和5年1月22日の冬季・生きもの観察会から開催することができました。令和5年8月6日に夏季・生きもの観察会、令和6年8月4日に夏季・生きもの観察会、令和7年1月19日に冬季・生きもの観察会を行いました。なお、令和6年1月に予定していた冬季・生きもの観察会は、雨天のため中止となりました。



夏季・生きもの観察会のようす

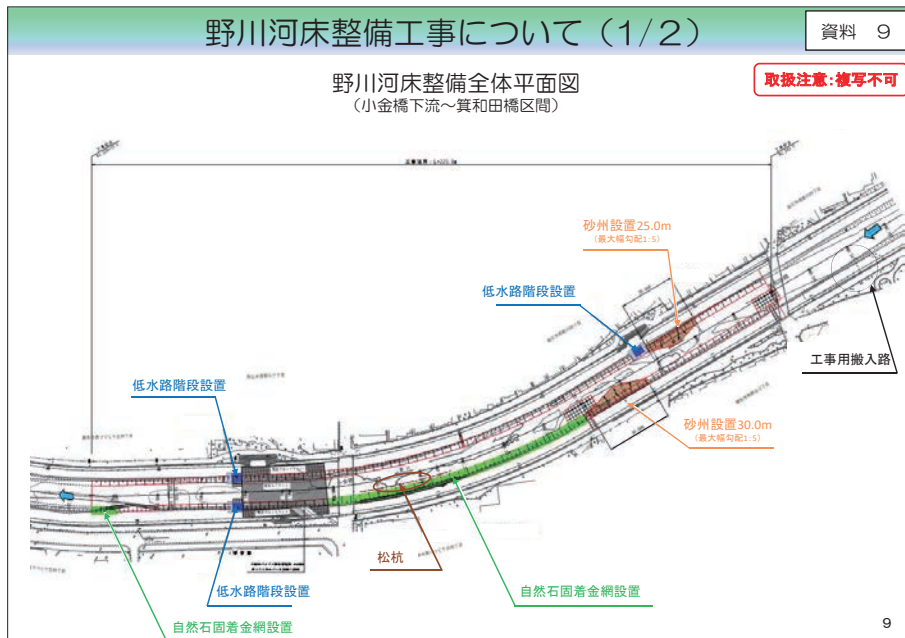


冬季・生きもの観察会のようす

工事説明会の開催状況

第10期では、野川河床整備工事（北その4～6）に関する意見交換会が全3回行われました。

いずれの回でも、カワセミへ配慮した工事を求める意見がありました。工事について説明した事務局は、カワセミブロックや砂州の設置などを検討していると回答しました。また、緑化ブロック空洞化の補修工事を行ってほしいとの意見もありました。



野川河床整備工事 (北その5) の説明資料



野川河床整備工事 (北その6) の説明資料



野川河床整備工事 (北その6) 意見交換会の様子

チーム活動の状況

グリーンインフラチーム活動概要

グリーンインフラチームは、第10期の初頭に「野川のGIの目指すところ」「今後の進め方」を決定し、それに沿って活動をしました。

「今後の進め方」で掲げていたGIアンケートは、令和5年に実施しました。その結果は、次ページに示します。

グリーンインフラミーティングは、GI施設の見学と同日の令和6年9月に開催予定でしたが、ミーティングのみ開催し、見学は荒天のため中止となりました。その概要は次ページに示します。

野川GIの目指すところ

野川流域の「つながり」をつくる

流域全体で：

- ・雨庭などの実践活動を広める／住宅地等の面的広がり

河道で：

- ・日立中研大池まで未改修区間をなくす／川の連続性

河畔で：

- ・小金井自然再生の取組みを流域全域に広める
／大公園、緑地等のまとまり

崖線で：

- ・野川～崖線の横断的なつながりをつくる／川と崖線の連続性

支流で：

- ・仙川、入間川、旧野川とのつながりをつくる／支流の広がり

用水路で：

- ・玉川上水分水網を再生する／用水と野川につながり

今後の進め方

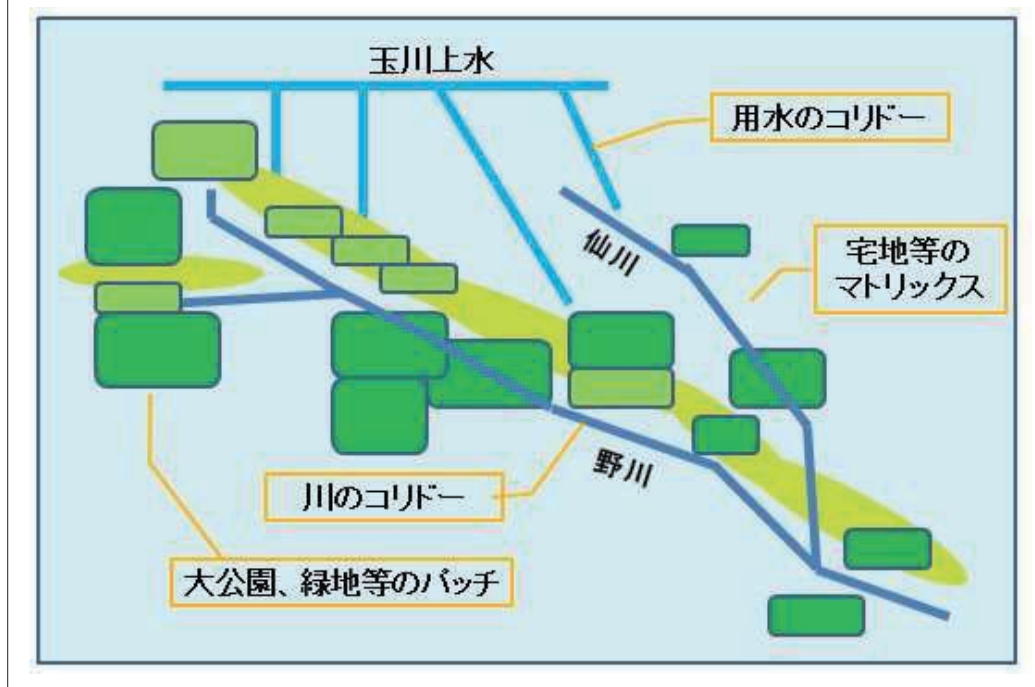
目標：

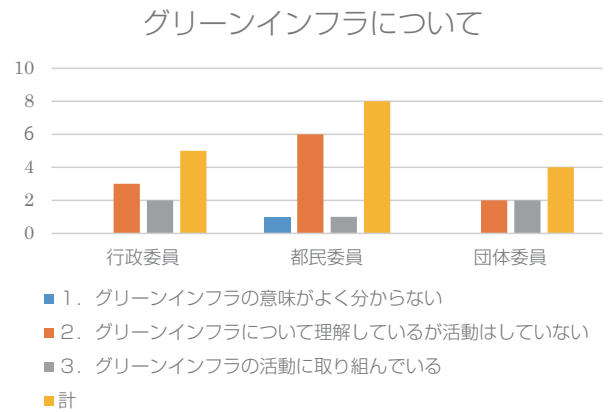
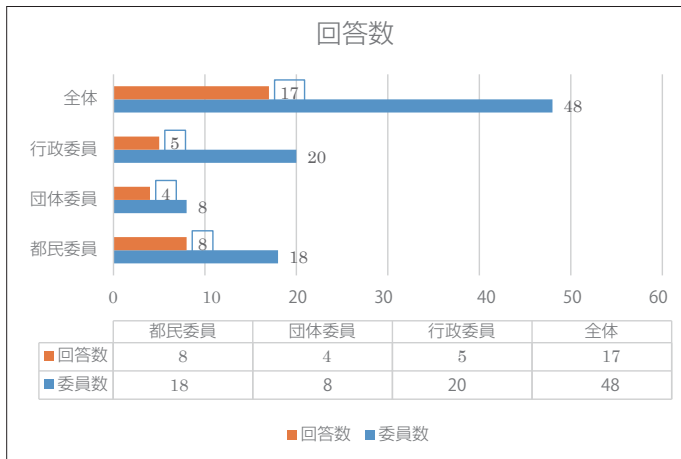
- 「野川流域グリーンインフラミーティングの開催」
次年度に予定する／10月頃を目指す

準備：

- GI活動アンケートの実施／2023年3月までに
・各自治体のGI施策リストアップ
・地域団体、市民団体のGI活動のリストアップ
GI活動現場の見学／世田谷区のGI施設の見学

野川流域GI資産としての水と緑の連続性





GI アンケートの結果

野川グリーンインフラシンポジウムの開催概要

開催日：令和6年9月1日（日）

開催内容

10:00～第一部（現場視察）は、台風10号により荒天が予想されたため中止

14:00～第二部 シンポジウム（場所：世田谷区砧総合支所会議室C及びD）

開会挨拶 野川流域連絡会座長 K氏

開催趣旨説明 野川流域連絡会グリーンインフラチームリーダー K氏

話題提供・東京都の河川事業におけるグリーンインフラの取り組みについて

- ・東京都建設局河川部計画課課長代理 K氏

- ・せたがやグリーンインフラ研究会からの報告 世田谷グリーンインフラ研究会 K氏

- ・世田谷グリーンインフラガイドラインの紹介 世田谷区作成の動画を放映

- ・住宅都市世田谷における「自分でもできる雨庭づくり」の取り組み 一般財団法人世田谷トラストまちづくり K氏

意見交換 コーディネーター K氏

閉会挨拶 野川流域連絡会副座長 D氏

参加者 行政関係者10名 都民委員8名 都民12名 事務局8名 計38名



野川のグリーンインフラシンポジウム ～流域で取り組む雨庭～

【開催趣旨】
野川流域連絡会では、2015年以降グリーンインフラを課題として取り組んできた。野川グリーンインフラ研究会やその部会としての世田谷グリーンインフラ研究会、成城グリーンインフラ研究会など継続的に活動を行ってきた。いよいよ川づくりワークショップ全国大会においても最終期に野川のグリーンインフラの取り組みが発表されている。現在は流域連絡会の部会としてグリーンインフラチームがある。定期的に、グリーンインフラが大きなうねりとなっており、世田谷区ではグリーンインフラガイドラインを策定した。野川流域はグリーンインフラ資源の宝庫であり、課題もあるものの、これを自覚して更に全国の先進地や地域としての活動を行っていくことが求められる。

【日時】2024年9月1日（日）
第一部10:00～ 第二部14:00～17:00
【会場】世田谷区砧総合支所 会議室C及びD 世田谷区成城 6-2-11成城学園駅北口徒歩3分）
◆参加申し込み
東京都、北海道建設事務所 工事第二課（工務担当）
発行：141-042-0300-1848

【プログラム】
第一部 グリーンインフラの施設見学
10:00 成城学園前駅集合
小田急線地下化上節築利用～成城地区の取り組み～ビクターセンターの雨庭など

第二部 シンポジウム
14:00 開会、挨拶等
14:15 話題提供
①東京都河川部：東京都の河川事業におけるグリーンインフラの取組について
②世田谷グリーンインフラ研究会：世田谷グリーンインフラ研究会からの報告
③世田谷区「せたがやグリーンインフラガイドライン」の紹介
④世田谷トラストまちづくり：住宅都市世田谷における「自分でもできる雨庭づくり」の取り組み
15:00 意見交換
⑤市民委員から
⑥自治体委員から
⑦まとめ：今後の取り組み
17:00 閉会

【第一部 行程】
1. 成城学園前駅中央改札口前集合
2. 小田急線地下化上節築園
3. 善見不動湧水地
4. 神明の森みづ湧水
5. 世田谷トラストまちづくりビクターセンター雨庭
6. きたみふれあい広場
7. ふんふくの茶雨庭
8. 善見駅前集合

* 第二部参加の方は善見駅から成城学園前駅までご移動ください。

世田谷区「自分でもできる雨庭マップ」より

主催：野川流域連絡会 事務局：東京都北海道建設事務所 工事第二課（板井）

生きものチーム活動概要

生きものチームは、野川流域連絡会が主催する**生きもの観察会**に主体となって活動するほか、第10期の活動方針として、**ほたる川に続くビオトープ候補地を探す、魚巣ブロックの設置による効果、ホトケドジョウ・サワガニの調査**を掲げ活動しました。

生きもの観察会の参加者数および確認種

名称	令和4年度夏季 生きもの調査会	令和4年度冬季 生きもの観察会	令和5年度夏季 生きもの調査会	令和5年度冬季 生きもの観察会	令和6年度夏季 生きもの調査会	令和6年度冬季 生きもの観察会
実施年月日	令和4年8月7日	令和5年1月22日	令和5年8月6日	令和6年1月21日	令和6年8月4日	令和7年1月19日
一般参加者	14名	12名	14名	－	14名	28名
確認種数	野川	16種	15種	17種	－	10種
	ほたる川	15種	15種	13種	－	14種
備考	流連委員のみの参加予定だったが、開催変更を知らない一般参加が14名だった。			雨天のため中止。		

ビオトープ候補地調査のようす

- 9/11(日) 調布流域 谷戸橋～野川大橋
参加 7名 (M、T、W、M、G、I、D委員)
案内 1委員

ビオトープ候補：入間川分水路下流の中州など



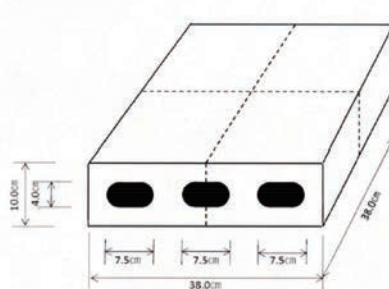
- 11/3(木) 世田谷流域 ビジターセンター～喜多見大橋
参加 7名 (S、T、M、G、N、I、D委員)
案内 1委員

ビオトープ候補：みつ池からの湧水出口、雁追橋下湧水出口



魚巣ブロックの設置による効果

魚巣ブロックを3か所に設置 (H 委員)
(天神橋下流、小金井新橋上流、泉橋上流)



穴の中で魚が休めるよう、
上流側を石で間詰め



子供たちにイタズラされな
いよう、北南建の連絡先を
書いた張り紙を設置

ブロックが流されないよう、
鉄棒を河床に打ち込み固定



魚巣ブロック状況調査報告

調査日 令和6年2月26日(月) 10時～11時半

参加 H、W、D委員 M(コンサル)

調査方法 ブロックの下流部の穴を塞ぐように網を当てて、上流側の穴から棒(モップ)を差し込み、中の生きものを網に追い込む



調査結果

場所	中にいた生きもの		備考
泉橋上流	カワリヌマエビ	スジエビ	
小金井新橋上流	カワリヌマエビ	ザリガニ(親)	
天神橋下流	カワリヌマエビ		設置時よりも水深が浅くなり、ブロックの高さの半分ほどに

※魚巣ブロックは今後も継続していく予定なので令和6年も12月16日に設置した。

《参加者》

生きものチーム：H、I、T、D 委員

事務局：S、I

《調査の目的》

野川流域のホトケドジョウとサワガニが減ってきている？

現状を把握し、

- ◆なるべく今の状態で自然な繁殖をどう手助けできるかなど今後の保護や生息環境の整備、湧き水水路の保全を野川流域連絡会としてどう考えるかのきっかけにする

《調査箇所》 6 箇所

- ① A 地点
- ② B 地点
- ③ C 地点
- ④ D 地点
- ⑤ E 地点
- ⑥ F 地点

<調査結果、※ 20 年ほど前との比較>

調査箇所	サワガニ	ホトケドジョウ	その他の生きもの
A 地点	○ ※昔よりやや少なく、稚ガニが多い	× ※昔からいない	ヨシノボリ オニヤンマ
B 地点	○ ※昔よりやや少なく、稚ガニが多い	×	あまりいない
C 地点	○	×	なし
D 地点	○ ※昔と同程度だが、稚ガニが多い	×	オニヤンマ
E 地点	○ ※昔と同程度だが、稚ガニが多い	○	オニヤンマ大 ホンサナエ
F 地点	○ ※昔と同程度	○	オニヤンマ フタスジモンカゲロウ

(注) 調査箇所はサワガニ、ホトケドジョウが希少種のため、地点名を伏せています。

湧水チーム活動概要

湧水チームは、春季・秋季の湧水調査を行うほか、調査によって得られた成果をどのように活用するか検討しています。

令和4年 秋季調査結果（一部集約および抜粋）

	日立中央研究所	真姿の池湧水群	貫井神社	野川公園内	天文台下	深大寺湧水群
調査日	10月19日	10月29日	10月16日	10月15日	10月30日	10月30日
気温(°C)	15.0~17.0	18.0~19.0	19.5	20.0~25.0	20.0	15.0~19.5
水温(°C)	17.2~17.7	16.9~17.5	17.6	17.4~19.0	16.6	16.8~17.4
EC (mS/m)	20.3~27.3	17.3~20.1	20.2~20.1	17.3~21.1	19.2	18.0~19.6
pH	6.0~7.8	6.0~6.6	6.0~6.2	6.4~7.4	7.0	6.0~6.4
DO (mg/L)	6.8~9.4	6.0~9.2	7.3~8.6	5.5~9.8	8.6	6.4~8.1
湧水量 (L/sec) _{(1)内総量}	6.6~57.5 (118.1)	3.9~20.8 (35.7)	1.9~15.7 (17.6)	0.1~65.0 (92.2)	0.3 (0.6)	0.2~22.5 (66.1)
生きもの	ミズムシ、ウズムシ、スジエビ、サワガニ、カクツツトビケラ、オニヤンマ(幼体)、ヘビトンボ ほか	カワニナ、ミズムシ、サワガニ、シマアメンボ、ガガンボ、アブラハヤ、ヘビトンボ ほか	カワニナ、オニヤンマ(幼体)、ヒル、ウズムシ ほか	カワニナ、カワリヌマエビ属sp、コオニヤンマ(幼体)、シマアメンボ ほか	サワガニ 東側調査地点が破損していた 大沢ではホトケドジョウも採取	オニヤンマ(幼体)、サワガニ、プラナリア、ヘビトンボ ほか

水温、EC、DOの測定に際し、測定機器によるもの。pHについては、パックテスト(BTB)による測定を行った。

今季のトピック

- ・ 全体的に湧水量が多く、これまでの湧水地点以外からもいくつか流出が確認された。
- ・ 多くの調査地点でヘビトンボ科の一種が確認された。
- ・ 今回の湧水調査では絶滅危惧Ⅱ類の植物を確認できた。



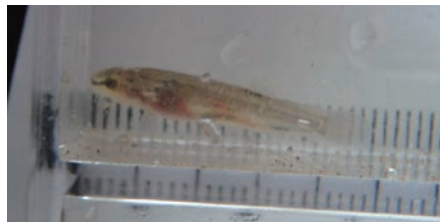
令和5年 春季調査結果（一部集約および抜粋）

	日立中央研究所	真姿の池湧水群	貫井神社	野川公園内	天文台下	深大寺湧水群
調査日	4月18日	4月2日	4月23日	5月6日	4月9日	4月9日
気温 (°C)	22.0~24.0	16.0~18.0	16.5	18.0~27.3	19.5	14.0~15.0
水温 (°C)	16.3~16.9	16.1~17.4	17.6	16.2~18.5	14.1~15.7	15.7~17.3
EC (mS/m)	21.0~26.0	13.9~19.8	20.0	16.2~18.5	18.5~18.8	19.3~20.1
pH	6.0~7.8	6.0~7.2	6.2	6.2~7.2	7.3~7.8	6.1~6.6
DO (mg/L)	5.9~8.1	—	8.4	8.7~9.9	8.8~11.1	6.6~9.5
湧水量 (L/sec) ⁽¹⁾ 内総量	0.1~1.1 (1.3)	1.0~7.1 (9.8)	2.1 (2.1)	0.4~5.6 (18.3)	>0.1~0.2 (0.2)	0.7~7.5 (15.7)
生きもの	シマアメンボ ミズムシ ボウフラ ナミウズムシ カワニナ カワゲラsp	カクツツビケラ カワニナ オニヤンマ ミズムシ ブユ ナミウズムシ ヨコエビ	ニンギョウトビ ケラ カクツツビケラ ナミウズムシ オニヤンマ カワニナ ミズムシ	サワガニ カワゲラsp カワリヌマエビ ホトケドジョウ (稚魚) フタスジモンカ ゲロウほか	秋に破損していた東側調査地点が修復していた 大沢ではヘビトンボなど採取	サワガニ カワニナ カワゲラsp マダラカゲロウ sp ボウフラ ブユ

水温、EC、DOの測定に際し、測定機器によるもの。pHについては、パケットテスト(BTB)による測定を行った。

今季のトピック

- ・ 2月にH氏にご案内いただいた湧水地点（野川公園内）も今回から調査地点として加えた。
- ・ 4月の割に気温も高く、ボウフラの採取が各地で多く見られた。
- ・ 参加メンバーによる調査手順が慣れてきている。



令和5年 秋季調査結果（一部集約および抜粋）

	日立中央研究所	真姿の池湧水群	貫井神社	野川公園内	天文台下	深大寺湧水群
調査日	10月2日	10月14日	10月14日	10月21日	10月28日	10月28日
気温 (°C)	19.5～24.0	17.0～19.0	20.5	20.0～24.5	25.5	14.0～15.0
水温 (°C)	17.2～17.8	17.0～17.6	17.5～17.7	17.1～18.8	17.0～17.9	17.4～17.7
EC (mS/m)	20.7～26.4	17.6～20.5	21.0～21.3	16.4～20.4	19.45～19.59	19.1～19.9
pH	6.0～7.8	6.0～7.0	6.0～6.2	6.4～7.4	7.2～7.4	6.0～6.4
DO (mg/L)	5.9～8.1	8.5～10.7	9.4～9.5	6.9～10.2	9.1～9.8	6.9～9.8
湧水量 (L/sec) ⁽¹⁾ 内総量	1.3～25.6 (47.5)	3.0～11.1 (29.0)	0.7～11.2 (11.9)	>0.1～47.5 (99.8)	0.2～0.4 (0.6)	1.5～12.7 (44.4)
生きもの その他特記	シマアメンボ ミズムシ ナミウズムシ カワニナ ヘビトンボ オナシカワゲラ科sp	カクツツビケラ カワニナ オニヤンマ アメリカザリガニ ジュズカケハゼ アブラハヤ	ニンギョウトビケラ カクツツビケラ ナミウズムシ オニヤンマ サワガニ ミズムシ	自然観察園付 近の調査地点 ではDO値が 2.5ppmと低く、 水温は高いの でデータから除 外	西側湧水に新 しく設置された パイプからの放 流はなかった。	サワガニ カワニナ オナシカワゲラ科sp オニヤンマ シマアメンボ

水温、EC、DOの測定に際し、測定機器によるもの。pHについては、バックテスト(BTB)による測定を行った。

今季のトピック

- ・ 春に比べて湧水量は多いが、例年と比べるとやや少ない。
- ・ 国分寺での調査の際に一般の方から話しかけられ、調査結果の開示を求められた。今後、流連メンバーや広報チームとも相談して公開できる資料について検討していきたい。
- ・ 勉強会後の調査で記録担当として参加した委員が実施。



令和6年 春季調査結果（一部集約および抜粋）

	日立中央研究所	真姿の池湧水群	貫井神社	野川公園内	天文台下	深大寺湧水群
調査日	4月10日	4月13日	4月29日	4月21日	4月14日	4月9日
気温 (°C)	16.5～19.5	20.5～22.0	26.0	20.0～25.0	26.0	21.5～23.5
水温 (°C)	15.8～16.8	17.5～17.6	17.7	16.0～19.0	16.7～18.6	17.0～17.3
EC (mS/m)	19.5～27.0	18.3～20.4	21.0	16.4～19.2	18.9～19.1	19.3～20.3
pH	6.2～7.6	6.2～7.0	6.2	6.2～7.4	7.2～7.6	6.0～6.8
DO (mg/L)	7.7～8.2	7.0～9.0	7.7	5.5～9.5	9.2～9.5	7.2～9.6
湧水量 (L/sec) ⁽¹⁾ 内総量	0.2～1.7 (3.52)	4.2～19.3 (29.8)	4.0 (4.0)	<0.1～16.4 (45.3)	0.1～0.2 (0.3)	0.6～6.4 (18.1)
生きもの	カクツツビケラ ヘビトンボ ナミウズムシ カワニナ など	モノアラガイ オニヤンマ カワニナ シマアメンボ ナガレトビケラ 属sp	カクツツビケラ カワニナ サワガニ ミズムシ	カワリヌマエビ ホトケドジョウ ヒラタドロムシ ハグロトンボ ブユ ほか	特になし	サワガニ カワニナ シマアメンボ オニヤンマ イトミミズsp

水温、EC、DOの測定に際し、測定機器によるもの。pHについては、パックテスト(BTB)による測定を行った。

今季のトピック

- ・ 気温が高いように感じた。生き物もそのせいか、春季の割には成長した個体が多くみられたように思う。
- ・ 昨年の降水量が少なかったことから湧水量が少ない結果となるのかと思ったが、調査実施の数日前にまとまった雨などもあり、水量はそれなりにあった。



広報チーム活動概要

広報チームは、野川流域連絡会メーリングリストの作成やホームページの作成、会報の作成などを行っています。第10期は、一時活動を休止していましたが、活動を再開し、情報発信を行うためのコンテンツを収集することを活動方針としています。

野川流域連絡会 広報チーム会報

第3号 令和5年10月18日発行

2023年8月6日(日)晴れ 時々スコール。

野川流域連絡会による夏の生き物観察会が行われました。

今回印象的だったのは、なんと言っても大人男性の単独参加と、専門学校の青年二人組の参加です。過去にもあったかはわかりませんが、私が遭遇したのは初めてだったのでそれがとても嬉しかったです！

子供たちとごちゃまぜの抽選でたまたま当選したようでしたが、大人だけの参加希望者はどの位いるのか興味が湧きました。大人枠を作り、別途抽選にしてはどうかと思ったりしました。大人の方にも気軽に参加していただけたら素敵だと思います。

大人一人で参加の男性は「へんな人って思われぬか心配でした」と言っていました。青年二人組は「将来環境に関わる仕事が希望なので、興味があつて参加しました」と言っていました。杭打や「ガサガサ」を、楽しんでやっていたので嬉しく思いました。

それと、この所 都の職員の方が大勢参加してくださるので、私達流連のメンバーも安心して思い切り楽しめます。感謝です！



野川下流部より参加



くい打ちに夢中



友人同士で参加



くい打ちに夢中



杭打ちプロ「うまい！」



みんなで「ガサガサ」 大人も夢中。



川で水浴びしていたワンちゃん



参加者へのお土産は、東京の河川PRキャラクターかわいこちゃんグッズ。



来年の夏はどんな方々が参加してくれるのか楽しみです！



問合せ先

東京都建設局 北多摩南部建設事務所 工事第二課 工務担当

住所 〒 183-0006 東京都府中市緑町 1-27-1

電話 042-330-1845 FAX 042-369-3890

e-mail S0200212@section.metro.tokyo.jp